

公1 全国の臨床工学技士を対象にした学術技能の研鑽及び資質の向上を目的とした事業

- 1) 職業倫理の高揚に関する事業
医療機器の立会基準、臨床工学技士の職業倫理に関する啓発
- 2) 日本臨床工学会の開催
- 3) 検定に関する講習会及び試験の実施
- 4) 日本臨床工学技士教育研究会開催
- 5) 生涯研修会の開催
- 6) 実習指導者の育成

公2 臨床工学領域における安全対策事業

- 1) 医療機器安全使用のための講習会
- 2) 医療機器の安全に関する普及啓発活動
- 3) 医療安全全国共同行動等他団体との連携

公3 臨床工学の普及啓発に関する事業

- 1) 臨床工学の普及啓発事業
- 2) 臨床工学技士業務指針の公開と啓発
- 3) 臨床工学技士業務実態調査事業
- 4) 国際活動に関する事業

その他の事業

他1：学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

- 1) 学術研究助成事業
- 2) 専門臨床工学技士認定事業

他2：相互福祉に関する事業

- 1) 賠償責任保険
- 2) 団体総合保険（あんしんくん）

他3：図書、印刷物の刊行に関する事業

- 1) 会誌の定期発行事業
- 2) 機関新聞「たより」の定期発行事業

平成 30 年度事業計画説明資料

公1 全国の臨床工学技士を対象にした学術技能の研鑽及び資質の向上を目的とした事業

1) 職業倫理の高揚に関する事業

医療機器の立会基準、臨床工学技士の職業倫理に関する啓発

2) 日本臨床工学会の開催

(1) 「第 28 回日本臨床工学会」を開催する。

メインテーマ：“臨床工学技士とマネジメント

～病院貢献、地域貢献、社会貢献～”

会 期：平成 30 年 5 月 26 日（土）～27 日（日）

会 場：パシフィコ横浜

学会長：一般社団法人神奈川県臨床工学技士会 会長 小林 剛志 氏

(2) 「第 29 回日本臨床工学会」の開催に向けた活動を一般社団法人岩手県臨床工学技士会と連携を密にし、開催に向けて準備を進める。

メインテーマ：“医療の変革とともに進化する臨床工学技士

～専門性に特化するスペシャリストの育成～”

会 期：平成 31 年 5 月 18 日（土）～19 日（日）

会 場：アイーナ（いわて県民情報交流センター）

マリオス（盛岡市民文化センター）

ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

学会長：一般社団法人岩手県臨床工学技士会 会長 菊地 雄一 氏

(3) 「第 30 回日本臨床工学会」の開催に向け一般社団法人愛知県臨床工学技士会との連携で更に準備を進める。

3) 検定に関する講習会及び試験の実施

対象者：会員および非会員（他の医療職を含む）

(1) 不整脈治療専門臨床工学検定

①基礎編を下記日程で開催する。

会 期：平成 30 年 6 月 9 日（土）、10 日（日）

会 場：AP 秋葉原

定員数：150 名

②応用編を下記日程で開催する。

会 期：平成 30 年 10 月 26 日（金）～28 日（日）

会 場：AP 大阪

定員数：150 名

③検定試験実施。 / 3 月

(2) 血液浄化専門臨床工学検定

①講習会

会 期：平成30年8月24日（金）～26日（日）

会 場：ソラシティカンファレンスセンター

定員数：138名

e-ラーニングによる講習会

会期：平成30年7月1日（日）～7月31日（火）

会期：平成30年10月25日（木）～11月25日（日）

②検定試験実施。 / 3月

(3) 呼吸治療専門臨床工学検定

①講習会

会 期：平成30年9月28日（金）～30日（日）

会 場：ソラシティカンファレンスセンター

定員数：144名

②検定試験実施。 / 3月

(4) 高気圧酸素治療専門臨床工学検定

①e-ラーニングによる講習会

会期：平成30年8月1日（水）～8月31日（金）

会期：平成30年10月1日（月）～10月31日（水）

②検定試験実施。 / 3月

(5) 手術関連専門臨床工学技士検定

①講習会

会 期：平成30年8月31日（金）～9月2日（日）

会 場：AP 秋葉原

定員数：84名

e-ラーニングによる講習会

会期：平成30年7月1日（日）～7月31日（火）

会期：平成30年11月1日（木）～11月30日（金）

②検定試験実施。 / 3月

(6) 心・血管カテーテル関連専門臨床工学技士検定

①講習会

会 期：平成30年6月15日（金）～6月17日（日）

会 場：AP 秋葉原

定員数：150名

②検定試験実施。 / 3月

(7) 内視鏡関連専門臨床工学技士検定

①講習会

会 期：平成30年8月2日（木）～8月4日（土）

会 場：ソラシティカンファレンスセンター

定員数：90名

②検定試験実施。 / 3月

(8) 医療機器管理認定臨床工学技士検定

①講習会

会 期：未定

会 場：未定

定員数：未定

②検定試験実施。 / 3月

(9) 血液浄化認定臨床工学技士

①講習会

会 期：未定

会 場：未定

定員数：未定

②検定試験実施。 / 3月

4) 日本臨床工学技士教育研究会開催

会期：平成30年11月10日（土）

会場：AP 秋葉原

定員：84名

5) 生涯研修会の開催

(1) キャリアアップ研修会初級（旧卒後臨床工学技士基礎研修会）

会期：平成31年1月19日（土）20日（日）

会場：ソラシティカンファレンスセンター

定員：92名

E-ラーニングによる開催

会期：平成30年5月1日（火）～5月31日（木）

会期：平成30年9月1日（土）～9月30日（日）

会期：平成30年12月10日（月）～平成31年1月10日（木）

(2) キャリアアップ研修会中級

会期：平成31年3月23日（土）20日（日）

会場：ソラシティカンファレンスセンター

定員：138名

(3) 災害対策研修会

会期：平成30年9月9日（日）

会場：ソラシティカンファレンスセンター

定員：144名

(4) 統計に関する研修会

e-ラーニングによる研修会開催

会期：平成30年4月1日（日）～4月30日（月）

会期：平成30年8月1日（水）～8月31日（金）

会期：平成30年12月10日（月）～平成31年1月10日（木）

6) 実習指導者の育成

(1) 臨床実習指導者研修会

会期：平成30年8月4日（土）、5日（日）

会場：ソラシティカンファレンスセンター

定員：144名

公2 臨床工学領域における安全対策事業

臨床工学技士の専門的知識・技能をもって、国民の医療・福祉に寄与する事業。

1) 医療機器安全使用のための講習会

(1) 透析液安全管理責任者研修会

会期：平成30年7月7日（土）、8日（日）

会場：ソラシティカンファレンスセンター

定員：396名

(2) 透析液安全管理基礎研修会

会期：平成30年12月9日（日）

会場：ソラシティカンファレンスセンター

定員：138名

e-ラーニングによる開催

会期：平成30年5月1日（火）～5月31日（木）

会期：平成30年9月1日（土）～9月30日（日）

会期：平成31年2月1日（金）～2月28日（木）

(3) 医療機器安全管理責任者研修会

会期：平成30年7月14日（土）、平成30年12月1日（土）

会場：東北文化学園大学（仙台）、三笑堂（京都）

定員：各会60名

(4) バスキュラーアクセス管理研修会

会期：平成30年8月19日（日）

会場：ソラシティカンファレンスセンター

定員：198名

e-ラーニングによる開催

○第Ⅰ期 平成28年の内容

会期：平成30年6月1日（金）～6月30日（土）

会期：平成30年10月1日（月）～10月31日（水）

会期：平成31年2月1日（金）～2月28日（木）

○第Ⅱ期 平成30年の内容

会期：平成30年11月1日（木）～11月30日（金）

会期：平成31年3月1日（金）～3月31日（日）

(5) 医療機器管理指針啓発研修会

会期：平成31年2月9日（土）

会場：ソラシティカンファレンスセンター

定員：138名

2) 医療機器の安全に関する普及啓発活動

- (1) 改訂および策定してきた指針、ガイドライン等の普及・啓発。
- (2) スマールボアコネクタ類のISO基準が本邦で適用されることに伴う医療現場の混乱や事故防止のための提言と新規格の普及啓発。
- (3) 一般社団法人医療安全全国共同行動と連携活動
- (4) 一般社団法人 医療の質・安全学会と連携活動
- (5) 一般社団法人医療事故調査機構への協力と連携活動
- (6) 公益社団法人日本透析医会 医療安全対策委員感染防止対策部会に協力。
- (7) 日本透析医学会の学術委員会に協力。
- (8) (公財) 日本医療機能評価機構に協力。
- (9) (独) 医薬品医療機器総合機構に協力。
- (10) (公社) 日本看護協会の安全対策に協力。

3) 医療安全共同行動等他団体との連携

公3 臨床工学の普及啓発に関する事業

1) 臨床工学の普及啓発事業

- (1) 「臨床工学（CE）の日」全国活動
- (2) マスコットキャラクターシープリンを活用した臨床工学の認知度向上ゆるキャラグランプリ出展
- (3) メディカルジャパン、メドテック等メディカルショー展示会に出展
- (4) 医工連携推進における臨床工学の啓発

- 2) 臨床工学技士業務指針の公開と啓発
各業務別業務指針の策定
- 3) 臨床工学技士業務実態調査事業
 - (1) 会員施設調査の実施
 - (2) 臨床工学技士に関する実態調査
会員を対象とした Web を利用した業務の実態調査、
- 4) 国際活動に関する事業
 - (1) JICA ボランティア支援活動
 - (2) 米国 AAMI (Association for the Advancement of Medical Instrumentation) へ派遣
および施設見学実施。
 - (3) 中国工程士会ならびに中国血液浄化学会との連携。
 - (4) WHO の医療機器関連会議に参加、日本の臨床工学技士制度の紹介・提言・支援を行う。
 - (5) 国際医療技術財団(JIMTEF)主催「医療関連職種 21 団体協議会」派遣。「災害医療研修 2 コース」の企画検討および評価を行う検討会議に派遣。
 - (6) 透析液水質管理基準 ISO/TC 150/SC2 会議に派遣。
 - (7) IFMBE 加入と派遣

その他の事業

他 1：学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

臨床工学技士の学術技能の研鑽及び資質の向上を図る。

- 1) 学術研究助成事業
 - (1) 地域における臨床工学の学術振興
 - ①講師派遣
 - ②若手技士活性のための助成
 - (2) 学術研究・論文助成
臨床工学領域における研究助成や優秀論文に対し表彰を行う。
- 2) 専門臨床工学技士認定事業
 - (1) 不整脈治療専門臨床工学技士認定事業
新規認定審査、更新審査
 - (2) 血液浄化専門臨床工学技士認定事業
新規認定審査、更新審査
 - (3) 呼吸治療専門臨床工学技士認定事業
新規認定審査、更新審査
 - (4) 高気圧酸素治療専門臨床工学技士認定事業
新規認定審査

- (5) 手術関連専門臨床工学技士認定事業
新規認定審査
- (6) 心・血管カテーテル関連専門臨床工学技士認定
新規認定審査
- (7) 内視鏡関連専門臨床工学技士認定
新規認定審査
- (8) 医療機器管理臨床工学技士認定
新規認定審査
- (9) 実習指導者認定
新規認定審査
- (10) 集中治療専門臨床工学技士認定の検討

他2：相互福祉に関する事業

- 1) 賠償責任保険
- 2) 団体総合保険（あんしんくん）

他3：図書、印刷物の刊行に関する事業

図書、印刷物の刊行により学術普及啓発及び会運営を円滑に実施する。

- 1) 会誌の定期発行事業
「63号～65号」を定期刊行予定。
- 2) 機関新聞「たより」の定期発行事業
たより 150号～155号発刊予定